令和3年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	31	事業No.	199		
事務事業名	新産業創出事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	工業課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	1	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる
	分野別計画			地域経済活性化プログラム
				長野県航空機産業振興ビジョン
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	成長産業（航空機分野等）や高度化・高付加価値化に取り組む意欲のある企業
	意図	成長性の高い産業分野（航空機分野等）の集積化を図ることで、既存企業の基盤強化と外部からの企業の誘致・誘導により雇用を促進する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	
	エス・バードの環境試験機器について、体制・機能の充実による信頼性の向上、あわせて利用率の向上が課題となっています。 コロナの影響による航空機産業を取り巻く環境変化により産業振興策も見直す必要があります。（審議会）航空機産業への支援に固執せず、健康医療や食品など広く新産業創出へ向け支援をされたい。（議会）with・afterコロナの環境変化を捉えて、新たな経営戦略への転換が必要。（審議会）

3年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	◇エス・バード内工業技術試験研究所の体制強化と、その活用と大学等の連携により製品・技術開発を支援します。 ・環境試験機器の運用については、国・県と連携し、新たに部門長を配置し、認証試験機関化への支援と部門長のネットワークによりＰＲ強化を図ります。 ・長野県航空機産業振興ビジョンの当面の対応方針に基づき、需要低迷期を乗り越えるための取り組みとして、培った技術を活かしてニューノーマル対応技術・製品の開発を支援します。 ◇コロナ禍において、産業センターに配置する専門人材を活用し、新分野（環境・エネルギー、福祉・医療等）への参入や、省力化・生産性向上に向けたIoT、AI、ロボット化による事業体制を強化する企業を幅広く支援します。	新分野事業専門人材・講師謝金	6,400
		航空宇宙産業クラスター拠点工場借地料	4,870
		航空機環境評価試験シンポジウム負担金	650
		地方創生交付金南信州広域連合負担金	4,000
		旅費、通信運搬費、印刷製本費、消耗品費	1,136
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	航空宇宙分野研修等開催回数	回	6							
	健康医療分野研修等開催回数	回	6							
	新分野研修会等開催回数	回	6							
	環境試験機器PR回数	件	20							
	航空機環境評価試験シンポジウム参加者数	人	100							
	環境試験機器利用件数	回	50							

3年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	17,056	（そ）航空宇宙産業クラスター拠点工場用地貸付料　4,870千円 （そ）ふるさと寄附金　4,500千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	9,370	
	一般財源	7,686	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	10	29	17,056 0	新産業クラスター事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								